

葛野語録50

1. 社会から、得意先、仕入先から、そして従業員から愛される企業でなければ永くは存立出来ない。
2. 中小企業は大きな分野で小さなシェアを持つよりも小さな部分で大きなシェアを取れ。
3. 知名度の高さ、イメージの良さは実体を伴わねばならない。
4. 花や葉の美しさ、華やかさを競わず、根の強さに重点を置くべきだ。
5. 自己資本の充実と人材の育成は企業前進の両輪である。
6. 多くの情報を集め、整理し、加工し、良質の知識とノウハウに仕上げよ。
7. 企業の発展はスローアンドステディが望ましい。
8. 試行錯誤は当然である。しかしマイナスの経験は、直ちにそして謙虚に生かさねばならない。
9. 発展は積み重ねでゆっくりだが、低落は坂をこげるように早い。
10. 耳に快よい情報より耳に痛い情報が大切である。
11. 労使は労資ではない。中小企業における労使には運命共同体側面が多い。
12. 人を信じて裏切られる方が、人を信じない誤りを犯すよりはましである。
13. 人間にとって、心は物より大切である。しかし、物は心の基礎であり、心は物の反映である。
14. 批判は恐れ嫌うべきでなく喜び歓迎すべきである。
15. 木を見て森を見失うな、そしてまた、森を見て木を見失うな。
16. リーダーは会議の前に自ら一応の結論を持って。
17. 職位は役割であり、権威ではない。
18. 単なる名誉職には首をつっこむな。
19. 難しい部下ほど自ら抱えよ、必ず役に立つ。
20. 売り手、買い手は常に平等である。
21. 80点という数字は悪くない。
22. 時間は厳守せよ、1秒も遅れるな。
23. 商品開発が企業の命だ。
24. 骨董店の見習小僧は本物を見て目を養う。われわれは本物で敏感な舌を創れ。
25. ブーム商品は恐慌で終る可能性が多い。
26. 同じ誤りを二度くり返すのは愚者だ。
27. 宿直員を置くより戸締りと火の用心をきっちりせよ。
28. 銀行は雨降りには傘を貸さない。
29. 優柔不断は悪徳である。
30. 旺盛な好奇心が行動をとる大切な動機だ。
31. 遊びの時には仕事の話をするな。
32. マイナスは思いきって切れ、それがプラスだ。
33. 既成概念にとらわれるな。進歩はその打破から始まる。
34. 最悪の結果を想定して決断せよ。
35. 企業の中に闘はつくるな。
36. 会社は常に沈むものと思え。
37. 同業者の悪口は決して言うな。
38. 社長の鞆を持つより仕事をせよ。
39. ベストにこだわってスローになるより、今できるベターを重ねよ。
40. 商売はお客様に日本銀行券で投票してもらうことだ。
41. 不条理な圧力には決して屈するな。
42. 経営とは走りながら考えることだ。
43. 専門家のお遊びに乗るな。
44. 仕事をゲーム化しなければ人は興味を失う。
45. 文章で読ませ、言葉で語り、もう一度念を押せ。
46. 人はどんな場合でも自分なりの「三分の理」をもっている。
47. 人が理解するのは抽象論でなく、具体的な話だ。
48. 「死んだと思え」優秀な部下も転属させられる。
49. 遅れる時計と、着かないライターはテーブルの上に置くな。
50. 説得する自信のないプランは出すな。